

滋賀県教員のキャリアステージにおける資質の向上に関する指標【教諭】

【 滋賀県がめざす教師像 】 1 教育者としての使命感と責任感、教育的愛情を持っている人 2 柔軟性と創造性を備え、専門的指導力を持っている人 3 明朗で、豊かな人間性と社会性を持っている人

教員として必要な基本的な資質・能力	(1) 教職に対する情熱と誇りを持ち、温かいまなざしで子どもたちの成長を見守ることができる。 (2) 教育公務員としての高い倫理観や道徳性を兼ね備え、服務規律を遵守し、言葉遣いやマナーなど、社会通念や社会人としての規範を意識した行動ができる。 (3) 学び続ける教職員として、自主的に研修や研究会に参加し、研鑽を積み、自己の専門性の向上や指導の改善に努めることができる。
滋賀県教員として特に磨いてほしい資質・能力	(1) 滋賀の自然や伝統・文化・環境などに関する知識、学校教育に関する基礎的知識、および専門分野に関する豊かな知識を持っている。 (2) 特別な教育的配慮を要する児童生徒や、外国人児童生徒等への学習支援など、共生社会に向けた多様な教育的ニーズに対応できる。 (3) いじめや差別を許さない確かな人権感覚を持ち、人権尊重の視点に立った児童生徒の理解や指導を行うことができる。

ステージ区分	準備ステージ	第Ⅰステージ	第Ⅱステージ	第Ⅲステージ
	教員養成段階	1年目～3年目	4年目以降	主に16年目以降 主に25年目以降
	基礎習得期	実践力形成期	発展期	深化期 円熟期
	大学等において教育全般にわたり、基礎的・基本的な知識や技能を習得する段階	学級・教科担当としての実践力を磨き、教員としての基礎を固める段階	教員としての専門性や指導力を高め、ミドルリーダーとして学校経営に貢献する段階	教員としての専門性や実践的指導力をさらに高め、校務分掌の主任等として学校経営に参画する段階

教育実践の内容	基礎的・基本的な教職に関する知識や技能の習得	学級・教科担当等を中心にした実践	学年・分掌等を見据えた実践	学校全体を見据えた実践
ステージに応じた主な教職研修		□若手教員研修(初任者・2年次・3年次研修)	□6年次(G-OJT)研修 □中堅教諭等資質向上研修 □ミドルリーダー研修	□主幹教諭研修

教員に求められる資質・能力

		指 標					
学習指導力	児童生徒の理解	児童生徒の学習の理解度や定着度を踏まえた指導の大切さを理解している。	児童生徒の学習の理解度や定着度を踏まえた指導ができる。	児童生徒の発達段階ごとの特徴を理解し、学習の理解度や定着度を見極めながら指導ができる。	児童生徒一人ひとりのおかれた状況等を踏まえた、豊かで共感的な理解に基づく指導ができる。	児童生徒一人ひとりのおかれた状況等を踏まえた、豊かで共感的な理解に基づく指導をするとともに、他の教員に助言や支援ができる。	
	教材の解釈と開発	児童生徒の発達段階に応じた教材研究や教材づくりに必要な基礎的な知識や技能が身に付いている。 滋賀の自然や伝統・文化・環境などに関する知識を学んでいる。	学習指導要領に基づき、育てたい力を明確にしながら教材研究ができる。	児童生徒の実態を踏まえて、学習指導要領に基づき、より学習効果が期待される補助教材を作成したり、新たな知見を活用して教材の工夫や開発を行ったりすることができる。	児童生徒の実態を踏まえて、学習指導要領に基づき、専門分野に関する豊かな知識と指導内容に対する深い理解により教材を開発し、他の教員と共有することができる。	児童生徒の実態を踏まえて、学習指導要領に基づき、専門分野に関する豊かな知識と指導内容に対する深い理解により教材を開発し、他の教員と共有するとともに、助言や支援ができる。	
	指導の評価と改善	学習指導要領等の目標や内容を踏まえ、単元(題材)目標に応じた評価規準を設定できる。	年間指導計画や単元(題材)の指導計画に基づき、本時で付けたい力、評価の重点を明確にして指導できる。 児童生徒の学習の過程や成果を「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を観点として評価し、指導の改善や児童生徒の学習意欲の向上に生かすことができる。	評価の場面や方法を工夫して児童生徒の学習の過程や成果を把握し、指導の改善や児童生徒の学習意欲の向上に生かすことができる。 学年を越えて学習の成果が円滑に接続されるように計画的な取組ができる。	評価の場面や方法を工夫して児童生徒の学習の過程や成果を把握し、指導の改善や児童生徒の学習意欲の向上に生かすことができる。 学年を越えて学習の成果が円滑に接続されるように計画的な取組を実践し、他の教員と共有できる。	学校の特色や児童生徒の実態を踏まえて、学習評価の充実、教育課程や学習・指導方法の改善に向けて、一貫性のある取組を学校全体で推進することができる。	
	児童生徒が主体的に取り組む授業	主体的・対話的で深い学びの重要性を理解している。	児童生徒が見通しをもって主体的に取り組む、学習活動を振り返ることによって深い学びにつなげる授業ができる。	対話的な学習活動を通じて、児童生徒自らが考えを広げ、深めるとともに、課題発見・解決のプロセスを重視した授業ができる。 継続的に実践内容を振り返り、課題を明確にして改善に向けて工夫し、研究授業を積極的に行うなど、他の教員と共有できる。	授業改善の視点や手立てについて学校全体で共有し、校内研修を設定する等、学校全体の授業改善を進めることができる。	継続的に授業改善に取り組み、模範となる授業を行うとともに、他の教員の強みや課題を把握して意欲を引き出しながら助言や支援ができる。	
	指導技術	学習指導要領の目標や内容を踏まえた学習指導案を作成できる。	指導内容を踏まえ、学習形態の工夫や発問、板書、机間指導、時間配分等を適切に行うことができる。 継続的に新しい知識・技能を学んでいる。	指導内容や児童生徒の実態に応じて学習形態を工夫するなど、多様な指導技術を用いた授業ができる。 継続的に新しい知識・技能を学び、他の教員と共有できる。		新たな技術やニーズを把握し、経験により身に付けた教科に関する豊かな指導技術を用いて他の教員の模範となる授業を行うとともに、他の教員に助言や支援ができる。	
	★特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応力	指導に関する基礎的な知識を習得している。	児童生徒の特性や多様な実態を把握し、個々の教育的ニーズに応じた適切な学習指導や支援ができる。	児童生徒の特性や多様な実態を把握し、個に応じた分かりやすい指導内容や指導方法を工夫した実践を計画的に行い、他の教員と共有できる。		児童生徒の特性や多様な実態を把握し、個に応じた分かりやすい指導内容や指導方法を工夫した実践を計画的に行うとともに、他の教員に助言や支援ができる。	
★ICTおよび情報活用能力	各教科等の特性に応じたICTの効果的な活用法を理解し、授業設計に活用したり、教材等を作成したりすることができる。 教育データの利活用の意義について理解している。	児童生徒が学習のツールとしてICTを有効に活用して学習を進められるように指導できる。 児童生徒の実態に即して、「個別最適な学び」、「協働的な学び」の視点から、ICTを日常的、効果的に活用して、授業を展開できる。また、ICTを活用して、児童生徒の学習状況を記録・整理し、評価できる。 学習履歴などのデータを利活用することで、児童生徒の学習上の課題の把握や学習指導の方向性を判断し、児童生徒の学習の改善を図ることができる。					

生徒指導力	児童生徒理解に基づいた適切な指導	児童生徒の権利や、公平で受容的な態度で児童生徒に接することの重要性を理解している。 児童生徒理解に基づいた指導の大切さを認識している。	人権に関する正しい理解と確かな人権感覚を持ち、児童生徒の個性、特性や多様な価値観を尊重した教育活動を行うことができる。 児童生徒の理解に努め、いじめや不登校等の個別課題の未然防止や早期発見、早期対応を組織的にできる。	人権に関する正しい理解と確かな人権感覚を持ち、児童生徒の個性、特性や多様な価値観を尊重した教育活動を学校全体の取組として推進することができる。 児童生徒の問題行動等の未然防止に向けた予防的な指導を行うとともに、チーム学校としての取組につなげることができる。	人権に関する正しい理解と確かな人権感覚を持ち、児童生徒の個性、特性や多様な価値観を尊重した教育活動を行うとともに、他の教員に助言や支援ができる。 児童生徒の問題行動等の未然防止に向けたプロアクティブな生徒指導について他の教員に助言や支援するとともに、チーム学校としての取組を構築できる。	
	学級経営・学級づくりについての知識や実践	学級集団形成についての基礎的な理論や知識を身に付けている。	児童生徒一人ひとりの理解と把握に努めるとともに、すべての児童生徒が互いの特性等を理解し合い、助け合って共に伸びていこうとする集団づくりのための指導ができる。 児童生徒の学習活動がより効果的になるように、美しく、安全・安心を確保した教室環境の整備ができる。 基本的な生活習慣を確立するための指導を適切に行うことができる。	児童生徒一人ひとりの理解と把握を適切に行い、保護者との連携を大切にして学年・学級経営を計画的に実施するとともに、常に改善に努めることができる。	児童生徒一人ひとりの理解と把握を適切に行い、保護者との連携を大切にして学年・学級経営を計画的に実施するとともに、常に効果的に実施するとともに、他の教員に助言や支援ができる。	
	★特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応力	指導に関する基礎的な知識を習得している。	児童生徒の特性や多様な実態を把握するとともに、保護者の思いを理解し、保護者や他の教職員と協力しながら組織的・継続的に児童生徒に対応できる。	児童生徒の特性や多様な実態を把握するとともに、保護者や他の教職員との協力、関係諸機関との連携など、組織的・継続的に児童生徒に対応できる。	児童生徒の特性や多様な実態を把握するとともに、関係諸機関と連携し、指導の方針を的確に示し、具体的に指導できる。	児童生徒の特性や多様な実態を把握するとともに、生徒指導を組織的・計画的に行うための長期的な見通しをもち、他の教員に対して助言や支援ができる。
	★ICTおよび情報活用能力	情報活用の基盤となる知識や態度に関する指導の重要性や教育データの利活用の意義について理解している。	情報モラルや情報セキュリティ等の情報活用の基盤となる知識や態度について指導できる。 生活・健康面の記録等、児童生徒に関する様々なデータを可視化して利活用することで、個々の教育的ニーズや課題を把握し、関係教職員と共有して、適切な指導に役立てることができる。			

組織対応力	学校運営への参画	組織の一員として自己の役割を自覚し、学校運営に参画することの重要性を理解している。	校務分掌や学校運営の仕組みを理解して組織の一員として自己の役割を自覚し、学校運営に参画できる。 研修等で学んだことを実践に生かすとともに、他の教員と共有して学校全体の組織力の向上に貢献できる。	学年や分掌において中核的な役割を担い、学校の教育目標の実現に向けて積極的に学校運営に参画できる。 社会情勢を踏まえて学校の教育課題の把握に努め、課題解決に向けた取組について提案できる。	学年や分掌においてリーダーシップを発揮し、学校の教育目標の実現に向けて全校的な視野を持って、学校運営に積極的に参画できる。 社会情勢を踏まえて学校の教育課題の把握に努め、課題解決に向けた取組を推進できる。	学校組織において中核的な役割を担い、学校の教育目標の実現に向けて全校的な視野を持って、学校運営に積極的に参画できる。 社会情勢を踏まえて学校の教育課題の把握に努め、課題解決に向けた取組を推進するとともに、他の教員に助言や支援ができる。
	コミュニケーション	多様な考えを柔軟に受け入れ、他者と良好な人間関係を築き、謙虚に学び続ける姿勢がある。	若手教員育成のためのOJT活動に課題意識を持って積極的に取り組むことができる。 同僚との日常的なコミュニケーションを大切にし、協働して教育活動を行うことができる。	OJT活動に積極的に取り組み、若手教員育成や自身の資質向上に努めることができる。 同僚の持ち味や強みを引き出し、よりよい組織づくりの構築に向けた提案ができる。	他の教員の相談を受けたり、助言や支援をしたりして、人材育成を推進することができる。	
	校内及び家庭・地域との連携	学校教育の推進のために、保護者や地域、関係機関と連携することの重要性を理解している。	報告・連絡・相談を意識して、いじめや不登校等の課題への対応を、学校の方針に従って行うことができる。 保護者との連携を大切にしながら教育活動を行うことができる。	報告・連絡・相談を意識して、いじめや不登校等の課題への対応を、学校の方針に従って適切に行うことができる。 地域や保護者、関係機関との円滑な連携・協働体制を構築し、効果的な教育活動を行うことができる。	報告・連絡・相談を意識して、いじめや不登校等の課題への対応を、学校の方針に従って適切に行うとともに、他の教員に助言ができる。 地域や保護者、関係機関との円滑な連携・協働体制を構築し、効果的な教育活動を行うことができる。	
	危機管理	事故・災害等の未然防止、発生に備えた対策、発生時の適切な対応の重要性を理解している。	事故・災害等の未然防止、発生に備えた対策、発生時の対応、事後の対応について自分の役割を理解し、家庭・地域・関係機関と連携して適切に対応できる。	事故・災害等の未然防止、発生に備えた対策、発生時の対応、事後の対応について、家庭・地域・関係機関と連携して児童生徒の安全を確保するとともに、協働して危機管理マニュアルの作成や避難訓練等を計画・運営する。		
	★特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応力	児童生徒の特性や多様な実態を把握し、組織的に対応することの重要性を理解している。	児童生徒への組織的・継続的な対応において、自分の役割を理解し、学校の方針に従って適切に対応できる。	校内研修の企画・運営や、校内支援体制の充実、関係機関との連携体制の構築など、組織的な支援を推進できる。		
★ICTおよび情報活用能力	学校におけるICTの活用の意義を理解し、校務を遂行するための基本的な知識や技能を習得している。	ICTを活用して校務に必要な情報を収集して共有したり、保護者・地域等との連携に必要な情報を発信したりするなど、校務を遂行する際に有効にICTを活用できる。				